

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより



みんな大好き!かぶと虫
夏の風物詩「北条鉄道かぶと虫列車」

市議会の新体制が決まりました (P2~3)

- 質疑・一般質問 (P4~8)
- 6月定例会の議案審議・4月臨時会 (P9~10)
- 議会改革度ランキング全国 43 位に (P11)
- 政策提言書を市長に提出 (P12~13)
- 加西市議会発足 50 周年特集 (P14~15)
～水不足解消に早期着手～

8

2017
NO. 152

市議会の新体制が 決まりました

議長に衣笠利則議員、副議長に丸岡弘満議員

6月2日に開催された第266回定例会において、議長・副議長をはじめ、委員会委員、各種選出委員、一部事務組合議会議員が決定しました。また、6月13日には議会選出の監査委員として長田謙一議員が選任されています。各委員の任期は2年間となっています。

議長・副議長・監査委員



議長
衣笠 利則



副議長
丸岡 弘満



監査委員
長田 謙一

議長就任あいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。6月2日に開催されました本会議におきまして、議員各位のご推挙により議長の重職を務めさせていただくことになりました。光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感いたしております。

市制50年の節目の年を迎え、市民の皆様方が築いてこられた歴史、文化を大切にし、また、諸先輩議員の築かれた功績を継承しつつ、なお一層、市民生活の充実、福祉の向上のため、絶えず前進し、挑戦する議会をめざし頑張っております。市民の皆様方には、今後も引き続き市議会へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会派構成

会 派	人数	代 表 者	会 員
2 1 政 会	8	森元清蔵	織部 徹 原田久夫 衣笠利則 三宅利弘 中右憲利 森田博美 長田謙一
自 民 の 風 ・ 誠 真 会 ※統一会派	4	丸岡弘満	植田通孝 黒田秀一 松尾幸宏
日 本 共 産 党	1	井上芳弘	
公 明 党	1	土本昌幸	
市 民 連 合	1	深田真史	

※統一会派 … 複数の政党または会派で構成する一つの会派。

議会運営委員会（定数8人）



（主な所管事項）

議会の会期や議案審議の方法などの議会運営、議会基本条例の検証を含む議会改革など

委員長	三宅利弘	副委員長	土本昌幸
委員	井上芳弘	委員	植田通孝
委員	中右憲利	委員	丸岡弘満
委員	森田博美	委員	森元清蔵

常任委員会

総務委員会（定数8人）

（主な所管事項）

加西市の将来計画、広報、市役所の組織、職員の人材育成、情報化、防災、市民参画、税金や市の財政、入札、観光振興、幼保・学校施設等の教育問題など



委員長	中右憲利	副委員長	黒田秀一
委員	織部徹	委員	土本昌幸
委員	長田謙一	委員	深田真史
委員	丸岡弘満	委員	三宅利弘

建設経済厚生委員会（定数7人）

（主な所管事項）

高齢者や身体の不自由な方等への福祉施策、商工業・農業の振興、道路や河川改修、住宅や上下水道の整備、環境問題、病院の問題など



副委員長

委員長	松尾幸宏	副委員長	原田久夫
委員	井上芳弘	委員	植田通孝
委員	衣笠利則	委員	森田博美
委員	森元清蔵		

各種選出委員・一部事務組合議会議員

名 称	定 数	委 員
国民健康保険運営協議会委員	1	井上芳弘
民生委員推薦会委員	1	黒田秀一
都市計画審議会委員	3	中右憲利 松尾幸宏 森元清蔵
播磨内陸医務事業組合議会議員	2	織部徹 丸岡弘満
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園議会議員	2	深田真史 三宅利弘
北はりま消防組合議会議員	2	植田通孝 原田久夫
小野加東加西環境施設事務組合議会議員	3	衣笠利則 土本昌幸 森田博美

（五十音順）

6月定例会

質疑・一般質問

6月13日、14日の本会議では、質疑2名、一般質問8名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。（発言順に掲載）

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（8月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



加西市の土地利用計画について

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 市民からは、なかなか住宅が建たない、工場が拡張できないというお声を聞きますが、一歩ずつですけれども改革されているというを確認したいと思っています。まず市街化調整区域についての土地の規制緩和の経過についてお尋ねいたします。

答 平成14年に特別指定区域制度が創設され、地縁者住宅は昨年度も50件の手続きがされており、また、新規居住者の住宅区域、地縁者の小規模事業者区域など土地利用の促進の手続きを進めております。平成18年

5月には、都市計画法が改正をされ市街化調整区域において相当程度の開発を行う場合は、地区計画の内容に適合する場合のみ許可されることを受け、倉谷町産業公園地区、下宮木町南部産業集積地区、鶉野飛行場跡地地域資源活用地区として地区計画を定め、土地活用の推進を図ってまいりました。

問 最近の実績とこれからの計画についてお尋ねいたします。

答 最も大きな実績は「ベルデしもさと」の成功と考えています。現在全28区画全て完売し、新たな自治会として生まれ変わっています。市外居住者の方が14区画を購入していただき、現在入居者総数は99人。そのうち小学生以下の子供が41名、未就学児童が37人ということです。

計画としては、加西インター周辺における産業用地の創出につい

て地域住民の皆様の協力をいただきながら、手続きや手法などについて現在検討を進めているところです。また、加西市と小野市、加東市3市にまたがる繁昌町の国道372号線沿道の約55.3ヘクタールについて、来年春の市街化区域編入に向け、手続きを進めているところです。

さらに尾崎町の北条高校前地区についても来年春には、新たな住宅地として生まれ変わる運びとなっています。

これからも市街化区域では土地利用の実態に応じた用途地域の見直し、また市街化調整区域においては、引き続き特別指定区域制度、また地区計画制度を活用し、地域の実情に応じたまちづくりの実現に努めてまいります。

■その他の質問項目

・ 公共交通について

文化・観光・スポーツ施策について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 50 周年記念式典での子供達だけで演じた狂言が大変すばらしく感動した。高校生以降も狂言に関わるような仕組みづくりをしてはいかかが。例えば北条高校の課外活動として「伝統芸能研究会」のような部をつくってもらい、それを母体として他の高校生等も含め、こども狂言塾とリンクし、野村萬斎さんほか、プロの狂言師の方の指導を受けられるようにできないか。

答 北条高校の魅力を高め活性化を図っていくための魅力的な提案と思います。活動方針や

指導者など、検討すべき問題もありますが、加西市の地域力を全国に知らしめ、文化を育てていくためにも、総合プロデューサーの藤田先生、こども狂言塾応援隊の皆さん、また北条高校の関係者等の意見を聞いて検討させていただきたいと思います。

問 昨年開設したアクアスカさい常設グラウンドゴルフ場の現在の使用状況について。

答 手軽にいつでもプレーできるということで大変人気があり、昨年度は大勢の方々がプレーされています。平成 29 年度は 4 月 1 か月だけでも 45 件、502 名の利用がありました。

問 大勢の方がグラウンドゴルフやウォーキングに来られるが、初めての人にとっては進入路が狭くてわかりにくく、通行もしにくい。しかも入口が鋭角に

なっているので、車を切り返して入る人も多く、大変危険な状況である。早急に進入路を広げる必要があると思うがいかがか。

答 アクアスへの進入路については幅員が狭く、車両の交差が困難な状況です。今後ますます利用者がふえることが予想されますので、施設利用者の利便性・安全性の向上及び施設の機能向上を図ることが重要と考えています。進入路の道路拡幅につきましては、用地取得を含めた事業計画を立て、複数年にはなりますが、事業完了を目指して検討していきます。

■その他の質問項目

- ・ふるさと創造会議について
- ・アクアスカさい周辺の土地活用について
- ・運動ポイント事業について

子育て支援について

一般質問



深田 真史 議員
(市民連合)

問 平成 24 年 4 月、中学 3 年生までの医療費が無料化になって以来、5 年が経過した。しかし、所得制限を設けているため、無料化対象外の子供たちがいる。所得制限による無料化対象外の子供の数、割合は。

答 加西市の場合、所得制限は保護者の所得割を合算せず、それぞれの所得割が 23 万 5,000 円未満であれば対象とし、それ以上であれば対象外としています。平成 27 年度のこども医療費助成

対象の子供の総数は 5,600 人。うち所得制限による対象外の子供の数は 254 人、約 4.5%です。



問 仮に、所得制限を撤廃した場合、無料化に充てる費用は、いくらふえることになるか。

答 平成 27 年度の実績から、こども医療費の助成額は約 1 億 5,900 万円であり、所得制限を撤廃した場合、800 万円程度の負担増が見込まれます。



問 こども医療費同様、子育て支援策として実施している 4・5 歳児の保育料無料化は所得制限がない。県の医療費助成も拡充されてきており、所得制限の撤廃に向けて考えてはどうか。

答 国や県、他の自治体の動向を見極め、加西市の子育て施策の整合性と実効性のある取り組みとして、検討していきたいと考えます。



■その他の質問項目

- ・幼保一体化について
- ・道徳の教科化について
- ・道路網の整備について

泉地区幼保施設統合について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 平成 28 年 8 月末に第 1 回の協議会が行われ、先般答申もあったわけですが、この間、宇仁、日吉、泉の幼稚園、保育園を統合して幼児園化してきました。この数年の間に 8 園を 5 園に、それを 1 園にという案ですから大きな飛躍がある。行政の提案の一番の理由は。

答 低年齢児の保育ニーズが高くなっていることや多様な保育、最大の目的は、先生方の集約による質の向上です。できるだ

け大きな規模でやっていきたいということから、1 園への統合を事務局案として示しました。

問 加西市の場合、幼稚園構想の当時から、適正規模 100 人ということまで来ていた。現実に合わせて定数の変化はあると思うが、いずれの公立こども園の基本計画でもそういったことがうたわれている。泉で大規模化して、非常にいい施設になるんだというのは、この間進めてきた施設が十分機能していないという判断か。泉地区だけが特別なのか。

答 平成 13 年に、民営化も視野にいて、経営規模を考えたときに 100 人という形が出てきた。その後、低年齢児の受け入れが非常に多くなってきている状況から 100 人では対応できないとい

うことです。泉地区の特殊性、小さいところがたくさんあるという中で、待機児童の解消、低年齢児の受け入れ、3 歳からの教育、今後の維持という先を見通した関係から判断しました。

意見 全市的な課題というが、旧加西町、北条町のどの小学校区でも民間の園も含めれば、就学前の施設はそれぞれにある。4 つのところで 1 つにしてしまうというのがなぜ公平か。民間の園もないところに、規模の小さい民間で支えられないものを公的に運営するのは行政の責任だと思う。

■その他の質問項目

- ・ 共通番号制度の現状について
- ・ 国民健康保険について
- ・ 就学援助制度について

介護予防について

一般質問



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 75 歳を超えると要介護や認知症が急増すると言われていています。現在、市老連を中心とした多くの行事により、高齢者の健康増進を推進していただいています。ゲートボールやグラウンドゴルフ、ウォーキングなどは比較的元気な人が参加されています。しかし、運動が中心の活動では本当に元気な人しか参加できないのではないのでしょうか。今後もひとり暮らしの高齢者がふえると予測されています。一人で家にこもるこ

とは健康にも悪影響を及ぼし、要介護や認知症の発生を助長すると考えます。一部地域で実施されていますが、町なかでも増加している空き家を活用して、人が集えるサロンのような場所をつくり、高齢者の交流やふれあいを推進する必要があると考えます。見解をお聞かせください。

答 高齢者の介護予防の観点からは、体操や運動で体を動かすことも大事ですが、引きこもらずに外へ出てコミュニケーションの機会を持つことは、体の健康と認知症予防等の心身両面から大切になってくると考えます。現在 1 万 1,600 人余りの高齢者が 130 の老人クラブに会員登録されており、クラブごとに花見や旅行等の活動をされています。また、91 町で月 1 回程度、民生委員を中心

にいきいきサロンを開催してレクリエーションや体操、食事など、地域コミュニティを深める活動を行っています。現在、地域の公会堂を中心として行っていますが、地域の空き家を活用することで参加しやすくなり、外出機会がふえる可能性があります。また、気心の知れた人が集まって互いに健康状態を気にするなど、地域の見守り活動にも寄与する効果が考えられます。今後、それぞれの地域において高齢者が歩いていける場所に、憩いの場のような拠点づくりを進めることで介護予防の推進を図っていきます。

■その他の質問項目

- ・ 健康長寿の取り組みについて
- ・ 観光振興について
- ・ 教師の労働環境について

平成 27 年国勢調査の結果について ほか

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 校区別人口の確定値と前回からの減少数と減少率は。

答 北条の人口確定値は 13,188 人、減少数は 426 人、減少率は 3.13%。富田 3,121 人、252 人、7.47%。賀茂 3,124 人、404 人、11.45%。下里 4,800 人、619 人、11.42%。九会 6,189 人、365 人、5.57%。富合 3,734 人、360 人、8.79%。日吉 2,466 人、298 人、10.78%。宇仁 1,890 人、206 人、9.83%。西在田 2,142 人、256 人、10.68%。在田 3,659 人、494 人、11.90% です。加西市全体では人口確定値が 4 万 4,313 人、減少数が 3,680 人、減少率が 7.67%。兵

庫県 553 万 4,800 人、5 万 3,333 人、0.95%。国 1 億 2,709 万 4,745 人、96 万 2,607 人、0.75% です。

問 人口増に転じた町の増加数は。

答 福吉 22 人、御幸町 7 人、笠屋 65 人、宮前 16 人、住屋町 4 人、栗田 12 人、古坂 50 人、東高室 20 人、吸谷町 4 人、谷口町 3 人、新生町 3 人、下宮木町 19 人、鶉野中町 16 人、青野原町 5 人、広原町 27 人の 15 町です。

問 50 人以上人口が減少した町の減少数は。

答 第三住宅 66 人、古坂 2 丁目 85 人、東南 57 人、黒駒 116 人、山下東町 64 人、尾崎町 72 人、上野田町 61 人、東野田町 54 人、西笠原町 61 人、三口町 66 人、中野町 72 人、田原町 107 人、網引町 57 人、繁昌町 56 人、下道山町 80 人、中富町 122 人、別所

町 77 人、佐谷町 68 人、上芥田町 50 人の 19 町です。

問 平成 27 年の校区別出生数と合計特殊出生率は。

答 北条の出生数は 119 人、合計特殊出生率は 1.60。富田 18 人、1.22。賀茂 11 人、0.81。下里 25 人、1.29。九会 26 人、0.97。富合 18 人、0.93。日吉 16 人、1.44。宇仁 16 人、2.57。西在田 14 人、1.66。在田 18 人、1.18 となっています。加西市全体では出生数が 281 人、合計特殊出生率が 1.46 となっています。

北朝鮮弾道ミサイルの危機管理について

問 弾道ミサイルが加西市内に着弾するまでの所要時間は。

答 国の国民保護ポータルサイトには、「極めて短時間で日本に飛来することが予想されます」と記載されています。

ため池の現状について

一般質問



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 平成 23 年、台風によるため池の決壊で加西市でも甚大な被害が発生した。市内のため池の数や改修の状況はどうなっているか。

答 市内には約 900 のため池があり、地元から改修要望を受け、改修工事に未着手のため池は 43 カ所あります。現在県営事業として改修中のため池は 5 カ所あり、今年度からは、さらに 3 カ所について改修に向けた調査設計に着手する予定です。今後も緊急

性を要する箇所から計画的に実施していきたいと考えています。

問 改修工事に係る地域負担と他市の状況について。

答 全面改修の場合、国 50%、県 29%、市 14%、地元 7% です。なお、加西市は部分改修という手法は採用せず、全て全面改修として採用しています。また、耐震性のない防災重点ため池は、7%から 3%に負担軽減を実施しており、差額は市の負担としています。小野・加東・三木市の場合、耐震性のない防災重点ため池は、受益者負担を課せずに改修を実施しています。加西市と西脇市は、農業用施設の改修は受益者負担の原則、また他の農業用施設改修との公平性を図るという観点から地元負担をお願いしています。

問 多くの地域が耐震化予算のない状況で困っている。5 月

にため池耐震化等の「農家負担ゼロ」を実現する土地改良法等改正法が成立したが、法律の中身、改正のポイントは。

答 地震に対する安全性の向上を図るため、農業用排水施設の変更などの土地改良事業を急速に行う必要があると認められる場合、費用負担、同意は原則不要とするという内容。ただし、調査設計を行い、脆弱性評価の結果により採択の可否が判断されるため、全てのため池が地元負担なしで改修できるということではないので、誤解のないようにお願いします。

■その他の質問項目

- ・市制施行 50 周年記念式典と成人式について
- ・人口問題について
- ・危機管理について
- ・市役所職員の人材育成について

教育問題について

一般質問



織部 徹 議員
(21 政会)

問 加西市の教育は、しっかりと成果を上げていると思う。担任や教科担任、学年主任など、資質、指導技術の向上が大切だが、学校を管理指導する管理職の資質や指導・統率力も重要である。管理職が 29 年度末には 7 人退職、その後 30 年、31 年と 2 人、3 人、32 年には 8 人が退職予定であり、管理職が急速に若返ると思うがいかがか。

答 現在、管理職の平均年齢は校長が 57.3 歳、教頭が 54.1

歳、一番若い校長で 55 歳、教頭は 48 歳ですので、現時点では若返っているとは言えないが、今年度末に 7 名、30 年度以降 2 人、3 人、8 人が退職予定とされており、若返りが想像できます。

問 主幹教諭のまま、管理職を志望しない人もいて聞いているが、それについてはどうか。

答 主幹教諭のまま管理職登用試験を受験しないという方もいますが、主幹教諭になられた方は、管理職を意識して公務に当たっており、試験に臨まれる方が随分多くなっています。

問 県教委は、管理職試験を行うときには、退職者数、欠員数の 3 倍程度の受験者数が必要であるという。校長で 8 人も退職者が出るとなれば、非常に苦慮されると思われる。教頭が校長にな

ると教頭がその分空く、主幹教諭、教務が教頭になればその分空き、新任の先生が入ってくることになる。人事構成として、どう考えておられるかお聞きしたい。

答 少なくとも必要数を上回る受験者は、この数年確保できていると考えています。女性管理職の登用を積極的に進めたり、主幹教諭の研修等を特に市独自で開催し、学校経営参画の意欲を高めるような会も数多くもっています。さらに、県教育委員会事務局及び加西市教育委員会事務局及び市長部局に、指導主事が数名いますので、これを含めた人事交流を行えば適切に対応できていると考えています。

■その他の質問項目

- ・ 市道周辺の安全について

第 266 回 加西市定例会議決結果一覧

平成 29 年 6 月 2 日～6 月 22 日

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議 案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部 徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
意見書案第 1 号 テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）法案 に関し慎重な対応を求める意見書（案）	×	×	欠席	×	○	議長	×	×	×	○	×	○	○	○	×	原案否決 （賛 5、反 8）

■全会一致で同意、可決した議案

議案第 36 号 加西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

議案第 37 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 38 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について

議案第 39 号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

建築基準

議案第 37 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

建設

市街化調整区域内において新たな地区計画として「尾崎町北条高校前地区地区計画」の都市計画決定を予定していることから、当該地区計画区域内における建築物の用途・敷地面積・壁面の位置・建築物の高さなどに関する基準を追加するもの。

問 尾崎町北条高校前地区における住宅地のアピール点について。

答 市街地である北条地区に近いという交通の利便性が高いことと、県立高校が近いという学校関係の利便性に優れていることがアピール点になると考えています。



問 この地区に、ベルデしもさのように若い人たちを呼び込もうという視点はあるのか。

答 特に若者に限定することとはしていませんが、市の活性化と人口増につながることから、検討していきたいと考えます。

討論【賛成】 人口減少を抑えていくためにも、市街化調整区域での住宅開発の取り組みは極めて重要であると考えてるので、これまで以上に力を尽くしていただきたい。

補正予算

議案第 38 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について

総務 建設

【歳出】

- ・一般管理費〔青野ヶ原周辺整備事業委託料〕（500 万円）
- ・企画費〔コミュニティ助成事業補助金〕（250 万円）
- ・市民参画推進費〔高校生海外プロモーション推進事業〕（130 万円）
- ・健康推進対策費（50 万円）

問 青野ヶ原周辺整備事業委託料について。

答 実施設計と工事監理の委託については、実施設計の入札の際に合札入札を行い、工事監理も実施設

計の業者が行うことが一般的であり、費用も抑えることができます。しかし、平成 29 年度の補助事業内示がない段階での、合札入札や一体的な契約は好ましくないとの防衛省からの指示により、個別の入札となりました。このことから、今回の実施設計委託では、翌年度の工事監理は随意契約が可能である仕様として、費用を抑えようとしていましたが、事業者の辞退があったため、増額となりました。

問 神輿や屋台の修繕の補助における、コミュニティ助成事業と文化庁の補助事業の使い分けについて。

答 コミュニティ助成事業は、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目的とし、コミュニティ活動に必要な設備等について助成するもので、過去に神輿や屋台に対して助成した実績があります。一方、文化庁の補助金については、国の採択の要件上、屋台に対して助成した実績はありますが、神輿に対してはありません。地域の方々が相談に来られたときには、コミュニティ助成事業と文化庁の補助金を説明した上で、選択していただいています。



問 高校生海外プロモーション推進事業について。

答 北条高校の海外研修において、現地の学校でパワーポイントなどを使い、加西市の観光情報、風景、特産品などについて、英語で紹介していくものです。また、北条高校生がデザインしたウォーキングシューズや播磨農高生が育てた大豆でつくった醤油、加西市のお酒などを実際に見てもらうことで、現地の方にも加西市を知ってもらい、国際交流としても活発になるように取り組んでいきたいと考えています。



問 寄附金を活用して購入する健康増進用の器具について。

答 購入しようとしている血管年齢計は、これまで兵庫看護協会からお借りして測定していた月 1 回のモールウォーキングでの健康相談で利用していきます。また、健康福祉会館に備え付けてある血圧計と併設して、いつでも測定できるような活用方法も検討していきたいと考えています。



4月臨時会 (4月20日)

提出された議案

○報告第1号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（加西市消防団員等公務災害補償条例の一部改正）

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正により、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額について、非常勤消防団員等に扶養親族がある場合における加算額を改定したものの。

○議案第34号 加西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

加西市固定資産評価員の選任について、地方税法の規定により、議会の同意を求めるもの。

○議案第35号（仮称）北条西こども園建設工事請負契約の締結について

北条幼稚園と北条西保育所を統合し、保護者の就労の形態や多様化する子育てニーズに対応するため、地域の幼児保育教育の拠点となる施設として、北条幼稚園敷地内に建設する、（仮称）北条西こども園建設工事について、西岡建設株式会社と請負契約を締結し実施しようとするもの。

工事請負契約金額：4億4,139万6,000円（税込）

工期：平成30年3月23日まで

第265回 加西市臨時会議決結果一覧

平成29年4月20日

■賛否の分かれた議案なし

■全会一致で承認、同意、可決した議案

報告第1号 専決処分したものにつき承認を求めることについて
（加西市消防団員等公務災害補償条例の一部改正）

議案第34号 加西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

議案第35号（仮称）北条西こども園建設工事請負契約の締結について

傍聴しよう！

ライブで見よう！

STEP.1 議会事務局（議会棟2F）へ

市役所・正面玄関の左手から、議会棟へ進みます。
2F事務局で「傍聴したい」と伝えます。

名簿に必要事項（氏名と住所）を記載し、
日程や審議資料を受け取ります。

STEP.2 本会議場／委員会室へ

事務局での手続きが完了したら、会議室へ
向かいます。審議中の入退室は自由です。



許可制



車椅子のまま
傍聴できます

ネット中継で見よう！

- ◎ お家でゆっくり
- ◎ 仕事が終わってから



手話通訳を頼んでみよう！

希望する本会議開催日
の1週間前までに申請し
ましょう。



議会改革の取り組み

議会改革度ランキング 2016 年度

(早稲田大学マニフェスト研究所 2016 年4月1日～2017 年3月31日の取り組み状況の判定 調査回答 1,347 議会)

[前年]
総合順位 43 位 (68 位)

[審査内容]

- ・情報共有 26 位 (25 位) 本会議などの議事録や動画、政務活動費・視察結果の公開等
- ・住民参加 172 位 (338 位) 議会報告会などの実施、住民意見の聴取等
- ・機能強化 88 位 (118 位) 議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況等

取 り 組 み 状 況

1 政務活動費の透明化

New

平成 28 年 4 月

平成 27 年度分の政務活動費の収支報告書を領収書も含めて議会ホームページで公開しました。平成 21 年度分より市役所総合案内のカウンターで公開していましたが、税金から交付される政務活動費は、適正かつ有効に使用し、支出については率先して説明責任を果たすため、広くインターネットでも公開することにしました。

2 議員提案による政策条例制定

New

平成 28 年 9 月 加西市手話言語条例制定

議員全員による「政策検討会」で議論を重ね、関係者との意見交換会で意見を聞き、条例案文を作成し、パブリックコメントを求めて条例案を上程しました。
初めて議会が政策条例を提案しました。



3 住民意見の反映

平成 28 年 9 月

- ・請願採択 精神障がい者の医療費助成を求める請願書
- ・請願採択 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための 2017 年度政府予算に係る意見書採択の要請
- ・意見書 上記請願に基づき意見書案可決

4 市長に政策提言書を提出

New

平成 29 年 6 月

各常任委員会の所管事務調査において、テーマを設定し、視察や勉強会を実施。その調査結果をまとめ、政策提言書を提出しました。

政策提言書を市長に提出

平成 29 年 6 月 1 日、総務委員会から「人口増施策」、建設経済厚生委員会から「土地利用と開発」に関する提言書を、議長から西村市長に提出しました。



政策提言は、閉会中の委員会活動において、所管事務調査を実施し、その調査結果をまとめ、施策の推進や事務事業執行の参考とされるよう市長に提言するものです。

議会改革の一つとして、今回初めて実施しました。

提言書の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

各常任委員会の取り組み状況

総務委員会

- 平成 28 年 4 月 22 日 第 1 回 テーマの検討
- 平成 28 年 5 月 16 日 第 2 回 テーマ「人口増施策について」に決定
- 平成 28 年 7 月 14 日 第 3 回 人口増施策の検証、人口が増えない要因の抽出



要因抽出など研究の様子

- 平成 28 年 8 月 3 日・4 日 行政視察
 - ・新居浜市「子育て支援について」
 - ・四国中央市「デマンドタクシーについて」
 - ・相生市「子育て支援「11の鍵」について」
- 平成 28 年 8 月 17 日 第 4 回 視察の感想、人口増減の要因の抽出
- 平成 28 年 9 月 28 日 第 5 回 人口増減の要因まとめ、加西市の良い点
- 平成 28 年 11 月 17 日 第 6 回 調査研究の再検証
- 平成 29 年 1 月 19 日 第 7 回 今までのまとめ、提言内容について
- 平成 29 年 5 月 10 日 第 8 回 政策提言内容について

建設経済厚生委員会

- 平成 28 年 5 月 11 日 第 1 回 テーマ「土地利用と開発について」に決定、スケジュール等の検討
- 平成 28 年 6 月 15 日 第 2 回 テーマに関する課題等の意見交換
- 平成 28 年 7 月 7 日 第 3 回 勉強会 都市計画法、農振法、農地法について
- 平成 28 年 8 月 3 日・9 日 行政視察
 - ・綾部市「都市計画法の線引き廃止について」
 - ・笠岡市

笠岡市での行政視察



- 平成 28 年 8 月 22 日 第 4 回 先進地視察を終えての意見交換及び考察
- 平成 28 年 10 月 4 日 第 5 回 勉強会 加西 IC 周辺の整備計画について
- 平成 29 年 4 月 26 日 第 6 回 意見の抽出
- 平成 29 年 5 月 11 日 第 7 回 提言書案をもとに協議

各常任委員会からの政策提言

総務委員会

人口増施策をもっと有効なものとするために

- ①自治会活動の危機等、人口減少による様々な影響について、市民に認識してもらえるよう努めること。また、各自治会への定住促進や、空き家の積極的な広報と活用にも努めること。
- ②未婚者への積極的な支援として、婚活支援者（仲人役等）を委嘱するなどし、出会いの機会を増やすよう検討すること。
- ③企業を誘致し、生涯の就労先と成り得る事業所を増やすとともに、魅力ある労働条件の構築に努めること。また、加西市の特色産業である農業の活性化に努めること。
- ④住環境の整備、市街地を中心とした住宅地の整備に努めること。
- ⑤加西市は、安全で安心な住み良い市であることの積極的な広報に努めること。
- ⑥加西市が進めている人口増施策の効果を検証し、取捨選択を行うこと。

建設経済厚生委員会

人口増を目指し、自由な土地利用と開発を

- ①加西インター周辺開発については、地元住民や兵庫県等と鋭意協議を行い、できるだけ早急に産業用地等が確保できるように努めること。
- ②市街化区域における区画整理事業施行地については、補助制度の充実だけでなく、他の手法も検討し、宅地化の一層の促進を図ること。
- ③市外からも定住者を呼び込むことに成功した「ベルデしもさと」のような一定のまとまりのある住宅団地について、民間による開発を促進する手法を検討するとともに、未利用市有地の活用も含め、引き続き市の主導による開発も検討すること。
- ④農用地区域からの除外や農地転用の必要のない農業用施設である温室、農産物加工施設、植物工場などを誘致した農業産業団地の形成を検討すること。
- ⑤人口減少集落区域の指定を受けたように、土地利用計画の策定に創意工夫を凝らし、9種類ある目的型特別指定区域の活用にも努めること。
- ⑥農振法における農用地区域の除外について、国家戦略特区の適用を探るなど、規制緩和の方策を検討すること。

水不足解消に早期着手

昭和 43 年から 45 年に上水確保、糺屋ダムが着手されました。

市川水系から水道用水を分水。水不足の悩み解消。（昭和 43 年）

昭和 42 年から 43 年にかけての異常渇水により、水資源を持たない加西市は深刻な水不足に悩まされていた。市長や市議会は、国、県、隣接自治体に飲料水の救援と、将来の水資源確保を要請していたが、はかばかしい回答が得られなかった。

そこで、最後の手段として、水道事業を開始したばかりの市川町に対し、再三にわたって余水の分水を陳情した。市川町は給水を希望していた三地区に対し給水を始めたばかりだったが、加西市及び、建設省に流域変更を認めさせた金井県知事、渡海衆議院議員の熱意と隣人愛にこたえ、町の給水に先立って加西市へ分水することを決定。

4月に市川町長と加西市長が分水契約を結び、9月には分水水道管敷設工事も完成した。加西市は、この「友愛の水」により、長年の悩みであった水不足から解放された。



水資源を確保。水道管敷設工事に着手

4月22日に開かれた第9回臨時市議会において、市川水系よりの水道用水分水契約案を可決。24日、市川町との間に契約調印を行い、長年の懸案であった水資源問題が解決されることになった。

この分水契約の内容は、基本受水量1日1,000トン、最大受水量を1,500トンとするもので、契約期間は5年間。契約期間満了後も、双方から契約の解除を行わない限り契約は継続することになっており、分水の増量を求めた場合にも、善処してもらえるとというものであった。

さっそく工事請負業者を決定。5月8日に分水道管敷設工事に着手。9月18日に完成して、通水式が行われた。この大事業の完成により、湯水期の上水道水の確保はもとより、播磨臨海工業地帯の背後地としての軽工業の発達、住宅団地の開発、観光レクリエーション地としての発展なども可能になり、加西市の将来の大きな飛躍が期待されるようになった。

水道工事契約等16件を可決。

第18回（臨時）市議会。

3月18日

22日
10月3日

地域開発特別会計、国保税改正等13件を可決。

第20回（定例）市議会。

18日

市職員給与改正条例、水道事業設置条例を可決。

昭和44年度拡張事業上水道施設完成。

第22回（定例）市議会。

昭和46年度各会計当初予算、市議会委員会条例改正案等35件を可決。

和
45
年
度

桃屋ダム起工。

（臨時）市議会。

持原附原址行政計畫全示言
月4日56月15日

北条中学校屋内体育館新設工事、上水道拡張工事請

月28日(10月2日) 負斐紗 社正三算等1件を可決

土地改良事業施行等22件を可決。

市議会議員定数減員条約を可決
10月12日

公害防止条例、水道給水条例等15件を可決。商工会

「8日（3月24日）合併促進決議を可決 決算特別委員会を設置

加西ハイソ用地取得、議員外特別職の報酬改正、昭

上水道の拡張 (昭和 44 年)

第 17 回定例市議会は、6 月 9 日開会し、途中で会期を 3 日間延長して 17 日まで開かれた。この議会では、有線放送の施設改修、水道拡張工事請負契約など 16 件を可決。上水道第 3 期拡張工事は、6 月から 12 月まで行われることになった。

糶屋ダム工事着手 (昭和 45 年)

難航をつづけていた水没補償が 4 年ぶりに妥結。4 月 4 日、加西市民が長年待ち望んでいた糶屋ダムの起工式が行われた。

このダムは、東条ダムや平荘湖の 1.7 倍という大ききで、総貯水量は 1,350 万トン。51 年春完成を目指して、早々に工事が着工し、長年水不足に悩んでいた加西市の前途に、一段と明るさを加えた。



50 年後の今

上水道

現在は、市川町水系と県広域水系からの受水で安定した給水ができています。水道料金も昭和 60 年をピークに全国的にみて高負担でしたが、経営努力により平成 26 年には、全国平均並みに安くなりました。しかし、水道施設や管路は、老朽化等により更新時期を迎えており、今、新たな水道事業ビジョンを策定して、災害時にも安定した給水確保と経営基盤の強化を図っています。

糶屋ダム (国営加古川西部農業水利事業)

6 年後の完成予定が大幅にずれて、24 年の歳月と 397 億円 (当初 55 億円) の事業費の投入によって平成 3 年 3 月 26 日に完工式が行われました。事業費の負担金償還についても多くの課題を解消しながら、平成 27 年度に償還を終えました。これにより、農業用水は安定的に確保されています。

昭和 43 年度 市議会年表	
4 月 22 日	第 9 回 (臨時) 市議会。
4 月 24 日	市川町との水道用分水分水契約、市職員定数条例等 11 件を可決。
5 月 8 日	市川町と水道用分水分水契約を締結。
6 月 3 日	水道拡張工事に着手。
6 月 3 日	第 10 回 (定例) 市議会。
7 月 22 日	上水道拡張工事契約、補正予算等 7 件を可決。
8 月 26 日	第 11 回 (臨時) 市議会。
8 月 26 日	土地改良事業施行、公害防止条例等 11 件を可決。
9 月 18 日	名譽市民称号贈呈案、国鉄北条線存続の決議等 3 件を可決。
9 月 20 日	交通安全対策特別委員会、総合開発特別委員会を設置。
9 月 20 日	市川水系からの分水道管敷設工事が完成。通水式を行う。
9 月 20 日	第 13 回 (定例) 市議会。
12 月 9 日	国民健康保険条例等 12 件を可決。
12 月 9 日	国鉄北条線存続対策特別委員会を設置。
12 月 14 日	第 14 回 (定例) 市議会。
2 月 14 日	市営駐車場条例等 15 件を可決。
2 月 14 日	決算特別委員会を設置。
3 月 10 日	第 15 回 (臨時) 市議会。
3 月 10 日	塵芥焼却場設置条例等 11 件を可決。
3 月 10 日	昭和 42 年度一般・特別会計決算を承認。
3 月 16 日	第 16 回 (定例) 市議会。
6 月 9 日	昭和 44 年度各予算、条例改正等 31 件を可決。
6 月 9 日	第 3 次水道拡張工事着工。
6 月 17 日	第 17 回 (定例) 市議会。

(出典：加西市議会 20 年史)

市議会トピックス

■ 加西市議会議長が全国市議会議長会の監事に就任

5月24日に開催された全国市議会議長会第93回定期総会において、加西市議会の三宅議長（当時）が監事に就任しました。その後、6月2日の議長改選により、7月5日に開催された第208回理事会において、加西市議会の衣笠議長が監事に就任しました。

全国市議会議長会は、全国814市区（791市、23区）の議会の議長をもって組織し、地方自治の本旨に沿って都市の興隆発展を図ることを目的として活動を行っています。

監事は、全国市議会議長会の監査や理事会等への出席だけでなく、近畿地方111市の議会の議長で組織する近畿市議会議長会の理事会等へも全国市議会議長会会長の名代として出席します。

■ 閉会中の委員会開催日程

月 日	時 間	会 議
8月16日(水)	10:00	総務委員会



全国市議会議長会にて監事就任の挨拶をする衣笠議長

■ 平成29年9月 加西市議会定例会の予定

月 日	時 間	会 議
9月1日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（提案説明等）
9月5日(火)	15:00	発言通告期限（質疑・一般質問）
9月11日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（質疑・一般質問）
9月12日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（一般質問）
9月13日(水)	10:00	本会議（予備日）
9月14日(木)	9:00	総務委員会（議案審査、決算審査）
9月15日(金)	9:00	建設経済厚生委員会（議案審査、決算審査）
9月19日(火)	9:00	建設経済厚生委員会（議案審査、決算審査）
9月25日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議（最終日：委員長報告・採決）

ぜひ傍聴にお越しください！



インターネット
議会中継
(ライブ・録画)

加西市議会

検索



■ 編集後記

6月議会において、議長をはじめ全ての役職の改選が行われ新体制がスタートしました。今後2年間この体制で議会活動が行われていきます。

議会だより編集委員会も下記のメンバーとなりました。市民の皆様に読んでもらえる、わかりやすい広報に努め、紙面を通して議会活動の情報公開はもとより、市民の皆様への説明責任を果たしてまいります。

皆様のご意見も、どしどしお寄せください。



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森元清蔵
委員 植田通孝
委員 三宅利弘

副委員長 井上芳弘
委員 松尾幸宏
委員 森田博美